Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter

2018・2019

インスピレーションになろう

Rotary

Vol.11 ガバナー月信 2019.5.1

■目次

細川　吉博　第2500地区ガバナーメッセージ …… 1
第３分区ＩＭ報告 …… 2
第８分区ＩＭ報告 …… 4
ハイライト米山 …… 6
コーディネーターニュース …… 8
3330地区大会参加報告 …… 9
グローバル補助金小委員会報告 …… 10
インターアクトクラブ …… 11
新入会員・ロータリー財団寄付者・米山功労者・物故会員 … 12
例会出席率 …… 13

ガバナー・メッセージ

2018－19年度
国際ロータリー第2500地区ガバナー　細　川　吉　博
（帯広北ロータリークラブ）

4月にはPETS地区協議会が終了し、いよいよ吉田丸の出航の準備が整ってきました。私もガバナーとして10ヶ月が経過してあと残すところ2ヶ月となりました。しかしこれからまだIMが4地区ありますし、国際大会がドイツハンブルクで開催されます。気を抜かずに引き締めて対応していきたく思います。

4月13、14日と2570地区（埼玉県西部）の地区大会が本庄市にて開催され参加させていただきました。多くの日本ロータリーの重鎮を輩出している地区でもあり厳粛に大会は進行していきました。

地区指導者育成セミナーではロータリー公共イメージコーディネーターであります柳生好春氏（2610地区、野々市）の講演がありました。その中で今なぜ公共イメージの向上かとのお話がありました。世の中が今までは成長性から公益性を重視する傾向が強くなっている。その中でロータリーはどのように進んでいくかとのテーマでした。世界のロータリアンは120万人の会員数で大きな変化はありませんがクラブ数が15％増加している。これは１クラブあたりの人数が減っていることだがクラブの主体性、ひいては会員一人一人の行動力が必要になっているとのことであり、近年のRI会長のテーマを見てもロータリーという素晴らしいリソース（資源）に磨きをかけ、それを生かして社会公共のために尽くす姿になっているとのこと。ロータリーは「共同体」から「機能体」に変化する必要があるとの結論です。その時私たちの中でロータリーとは何か？他の団体とどこが違うのか？なぜロータリーは必要なのか？を今一度考える機会ではないかと話されています。インド、台湾、ナイジェリアなどではロータリーの認知度はほぼ100％であるのに、日本においては58％が知らないという現実もあるとのことです。その時に考える一つのツールとして、商売でもしばしば語られる「バリュープロポジション」があるとのことです。商品の優位性、業務の卓越性、客との信頼関係が優れているとのことです。それはバリーラシン会長のテーマ「インスピレーションになろう」にも繋がるし、私たち一人一人が世界を変える行動人となりうると話されました。

昨年2500地区で初めてグローバル補助金を使用した留学生を派遣することができましたが今年もさらに一人派遣します。経済と地域社会の発展の関わる重点分野において、途上国での貧困の解決などで今後世界を意識した活動をしていただけると信じています。2500地区の皆さんの力で送らせていただく奨学生です。どうか応援いただけますようお願いいたします。

2620地区に米山梅吉記念館があります。日本のロータリーの祖と言える方の生家ですが改修が必要になりました。各地区、クラブにご寄付の依頼がありました。地区としまして少額ではありますが寄付させていただきました。

3月号の中でお話をご紹介しましたRI会長代理の松宮剛PDGですがクラブ名は茅ヶ崎湘南RCでした。お詫び申し上げます。

5月は青少年奉仕月間です。2500地区においても多くのインターアクト、ローターアクトは盛んに活動しています。しかし最近メンバー不足などで活動が停滞しているクラブも見受けられます。どうか将来のロータリアン、ロータリーファミリーを維持、増やすためにも各クラブのご助言、ご後援をお願いする次第です。

我がクラブが抱えている問題、直面している課題

国際ロータリー第2500地区
第３分区ガバナー補佐　淤　見　政　儀
（旭川南ロータリークラブ）

去る3月30日（土）第3分区のＩＭがアートホテル旭川において13：30～開会式が行われ、分区内12ロータリークラブ全員登録により382名の参加をいただき、開催出来ました。ＩＭの目的、近隣のクラブが一堂に集い、ロータリーの知識を深め、分区内のロータリアンの親睦と友情を育むことを目的と、ガバナー補佐が主催するただ一つの分区事業であります。

今回のテーマは「我がクラブが抱えている問題、直面している課題」であり、12クラブの代表者による発表であり自由に発表していただきました。

そこで多かったのが、会員増強と退会防止、そしてご婦人の入会についてでありました。細川ガバナーも講評の中で人数ではなく、各クラブが情熱をもって新会員に対してのロータリーの教育と仲間意識の向上が必要ではないかとのご意見を述べておられました。

次年度ガバナー補佐の紹介があり、石川千賀男様のご挨拶を頂き、閉会となりました。

懇親会では細川ガバナーの歌声も聞く事ができ、松田ガバナーノミニーに万歳三唱で終える事ができました。詳しくは報告書を見ていただければと思っています。
参加されました方々に感謝申し上げ、ＩＭの報告とさせていただきます。

追伸

すべてが終わり二次会では、細川ガバナー、地区副幹事そしてＩＭ実行委員会で反省会を行いました。特に細川ガバナーのカラオケがうまく、とても盛り上がりました。

ＩＭは大変でしたが、楽しい一日であり、今後細川ガバナーには3ヶ月ありますので、お体に気を付け、残りを頑張っていただきたく思う次第です。ＩＭ実行委員会より感謝申し上げお礼といたします。ありがとうございました。

旭川南ＲＣ 高野会長 挨拶

来賓紹介

パストガバナー清水 哲也 様

地区副幹事

ガバナー細川 吉博 様

ガバナー補佐 淤見 政儀

上川ＲＣ 南 紀行 様

旭川ＲＣ　前田 政克 様

旭川西ＲＣ 大垣 宏 様

旭川北ＲＣ 谷川 敞 様

富良野ＲＣ 西塚 邦夫 様

旭川東ＲＣ 前田 高志 様

旭川南ＲＣ 高野 徹 様

美瑛ＲＣ 上田 利政 様

旭川東北ＲＣ 川上 義尚 様

旭川ＭＲＣ 嵯城 俊明 様

旭川空港ＲＣ 宮出 奈美枝 様

北海道2500ＲＥＣ 梅井 幹雄 様

地区ＩＴ委員長 高橋 広昭 様

次期ガバナー補佐 石川 千賀男　様

実行委員長 岡田 佑一

ガバナー補佐 淤見 政儀

ガバナーノミニー 松田 英郎 様

副実行委員長 水留 博

持続可能な地域をめざして

国際ロータリー第2500地区
第８分区ガバナー補佐　栗　本　英　弥
（浜中ロータリークラブ）

去る３月16日、第８分区ＩＭが、小雪舞うなか浜中町総合文化センターにおいて、７クラブ172名の登録参加を頂き、細川ガバナー、地区副幹事、歴代分区代理、歴代パストガバナー補佐ご参集のもと開催されました。

松村実行委員長を中心に、浜中ＲＣ会員12 名の皆様には、当日はもとより準備段階から、言葉に言い尽くせぬご尽力を頂きましたこと、お集まりいただいた会員皆様のご友情、そして素晴らしいご講演をいただいた鶴羽先生に心より感謝とお礼を申し上げます。

今日の少子高齢化、人口減少、後継者問題など、信じられない勢いで私たちの住む地域を直撃し、深刻化しております。ロータリーも他人事でなく、地域が疲弊し、会員の職業が成り立たなくなれば、ロータリーの明日もありません。地域やロータリーが持続可能な社会を維持するため、地道でありますが、

（ふるさと教育）の重要性を考えていただくために、元ＨＢＣアナウンサー、現在北海道教育委員会委員　鶴羽佳子先生の「子供の自立と地域課題を解決できる対話力とは」と題して、ご講演をいただきました。

ギャングエイジの体験が乏しく、過保護過干渉で失敗体験もなく、テレビやスマホ社会の中で育つ子供たちの、話す力，聞く力が極端に衰え、単に所得が低い階層というより、コミュニケーション能力、生活能力、働く意欲、学ぶ意欲、総じて人生への意欲が低い下層社会人口が増え、ニートといわれる人が57万にもなっていることや、対話力不足のためせっかく社会人になっても、職場になじめずすぐやめてしまう傾向が顕著になってきている。

子供たちや若者の自立のために、コミュニケーション能力の必要性を説かれ、今、時代は AI 社会を迎え、社会人基礎力を育てるために、幼少期、小中高を含めて対話力を育む教育の責任や課題、特に地域と高校が「どんな地域を実現するため、どんな人材を育てるのか」を明確にし、そのために「地域や学校、子供たちがどのような役割を果たすのか」を共通の認識に立ち連携することが地域問題解決のカギになると力説されました。結びに、対話力を身につけるため、①緊張感をなくしてからの対話　②相手の話を受け止める反応力　③プラスイメージを与える誉め言葉の語彙力を高めることを教えられ、参会者一同目からうろこの落ちる講演でした。

ガバナーから的確なご講評を頂き、締めは浜中 RC 名物、ウニやカニ、北寄チーズやホエイトン（はまなか三昧プラン）の「友情の宴」をもって、今年度第８分区 IM を無事終了することが出来ました。

2018-2019年度国際ロータリー第2500地区　第8分区
Rotary
INTERCITY MEETING

2018-2019年度国際ロータリー第2500地区　第8分区
Rotary
INTERCITY MEETING
～IMテーマ～

子どもの自立と
地域課題を解決できる対話力とは？
インスピレーションになろう

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース
ハイライトよねやま
2019.4.12
Vol.229

【訃報】名誉理事長 板橋敏雄氏 逝去

当会名誉理事長（前理事長）の板橋敏雄氏が、3月23日にご逝去されました。享年89（満88歳）でした。

板橋氏は1962年に足利東ロータリークラブに入会され、1987-88年度第255地区（栃木・茨城）ガバナー、1995・96年度国際ロータリー研修リーダー、2001-03年度国際ロータリー理事など、ロータリーにおいて要職を歴任されました。

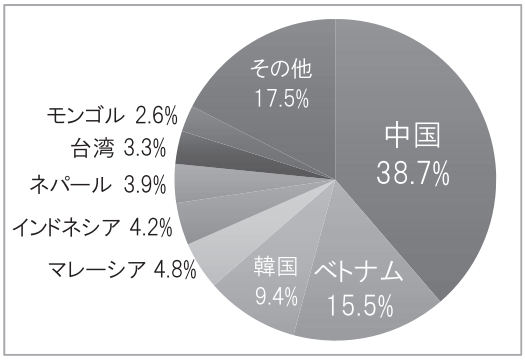
当会においては、2003-07年度監事、また、2007年8月からは7年間にわたり第5代理事長をお務めいただきました。ご自身の長いロータリー歴の中でも「米山記念奨学会の理事長という職責ほど、大きなやりがいを感じたものはない」と語り、あらゆる場で当事業の“感動”を伝え、国内外、特に海外学友会には可能な限り足を運ばれました。理事長在任中には中国・タイ・ネパール・モンゴルのほか、国内を含めると9つもの学友会が誕生し、当事業の発展のために多大なご尽力をいただきました。

4月23日には足利市民会館において、社葬として葬儀・告別式が行われるとのことです。

ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈り申し上げます。

2019学年度新規奨学生オリエンテーション開始

2019学年度の奨学生は昨年度より17人増の871人となりました。新規採用者641人、継続者230人です（4月10日現在）。国・地域別にみると、中国38.7%、ベトナム15.5%、韓国9.4%、マレーシア4.8%、インドネシア4.2%の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が812人（学部：321人、修士：268人、博士：223人）、地区奨励奨学金17人、クラブ支援奨学金9人、海外学友会推薦奨学金4人、今年度から正規プログラムとなった海外応募者対象奨学金は29人となっています。3月30日を皮切りに、今月下旬まで、各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かくお迎えください。



寄付金速報 ― 2018-19年度も残り3カ月 ―

3月までの寄付金は、前年同期と比べて0.6%減（普通寄付金:0.07%減、特別寄付金:0.9%減）、約730万円の減少となりました。普通寄付金、特別寄付金ともに前年同期比から減少しているものの、過去5年間の平均寄付額からは上回っており、堅調を維持しています。今年度も残り3カ月を切りました。今後は特別寄付金が主な寄付金収入となります。引き続きご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ミャンマー学友会総会報告　― 新体制が始動 ―

ミャンマー米山学友会総会が３月３日、ヤンゴン市内のホテルで開催され、学友とゲストを合わせて 15 人が出席しました。総会では、来賓として出席した武田和夫常務理事、滝澤功治常務理事からの祝辞に続いて、ミャンマー元日本留学生協会（ＭＡＪＡ）のミョー・キン会長から「ミャンマー米山学友会は、ＭＡＪＡの一員としても大変活躍している」との賛辞が送られました。

昨年度の活動報告として、経済的困難にある中学校や寺子屋での教育支援、日本語学校で学ぶ 15 人の優秀な学生への「田中作次奨学金」の支給、ミャンマーを訪問した東京東江戸川ＲＣ（第 2580 地区）、池田くれはＲＣ（第 2660 地区）、大宮シティＲＣ（第 2770 地区）との交流などについて報告され、さらに、学友３人が新会員として加わったという嬉しいニュースもありました。

今回の総会で役員改選が行われ、初代会長を務めたタンシンナインさんに代わり、第２代会長としてケイカイン ウィントゥラさん（2010-11／京都西ＲＣ）、副会長にソータイさん（2012-13／いわき平ＲＣ）、ほか５人の理事が選任されました。この４月から新役員での体制がスタートします。新会長のケイカインさんは、「情報交換を良くし、皆で力を合わせて、学友誰もが参加しやすい、温かい学友会を目指します」と、抱負を語っています。

絆 in モンゴルに参加しよう！　― 登録は 4/30 迄 ―

前号でお知らせしたとおり、２年に１度、学友会が協同で開催する米山ファミリーの集いが７月 27 日（土）～28 日（日）の２日間にわたり今回はウランバートルで開催されます。

３ 月中旬の登録開始から大きな反響をいただき、４月 10 日時点で、日本から 160 人を超えるロータリアン、学友が登録しています。また、台湾学友会から 40 人超、ベトナムや中国など海外在住の学友も続々と参加予定です。

迎えるモンゴル学友会では、70 人体制で、心を込めた“おもてなし”の準備にあたっています。７ 月はモンゴル観光のベストシーズンであり、航空券も通常 10 万円以上しますが、同学友会では、国営のＭＩＡＴ航空と直接交渉し、「絆 in モンゴル」参加者のために特別価格の座席を多数確保。希望者にはおすすめの５つのホテルを予約代行してくれます。

懇親会だけでなく、２ 日目にはモンゴル伝統の遊牧祭というお楽しみも。「モンゴルに一度は行ってみたい」とお考えの方、モンゴルの学友はじめ、世界各地からの学友と交流したい方には、またとないチャンスです。多くの皆様のご参加をお待ちしています！

登録締切は４月 30 日です。特に、特別価格の航空券、ホテルの予約代行をご希望の方は必ず４ 月 30 日までにご登録ください。まずは登録（ホテル予約代行希望者は登録時に申込み可）、その後、航空券の手配を各自で行います。

第 1 回「感謝 in 熊本」からバトンを受け、2 年をかけて準備してまいりました。モンゴル学友会一丸となって、皆様を歓迎する準備を整えています。多くの皆様と 7 月、モンゴルでお会いできることを楽しみにしています！

「絆 in モンゴル」実行委員長
ジャンチブ・ガルバドラッハ

申込書など詳細は右 QR コードを読み取るか、当会 HP のトップページ＞News & Topics ［！］重要なお知らせ をご覧ください

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

Rotary
Zones 1 & 2 & 3
コーディネーター
NEWS
2019年5月号
発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■「ロータリーの未来のビジョン」

国際ロータリーは、戦略計画委員会がロータリアンを対象に3年に一度調査をしています。最終は2017年に実施されています。

2017年調査は戦略計画の策定と、ロータリーの将来に関するビジョンについてロータリアンにアンケート調査しました。今回はローターアクター、学友、ロータリーの職員にも広げました。総計28,000人を超える参加人数でした。

結果、＜強み＞①クラブ例会を通じて友情と親睦を深めている。②長期的なメンバーシップ（会員制）を強く望んでいる。③ロータリーを通じて地元地域ならびに世界をより良くする機会が与えられていると感じている。④関心を示している分野のほとんどは、ロータリーの重点分野及びポリオ撲滅活動によって網羅されている。＜課題＞①若年層と女性会員とローターアクター、学友は若年層と女性会員の割合が高まることを望んでいる。②情報の透明性と説明責任は最優先事項であるがこの分野で後れを取っている。③クラブが戦略計画を立案すればするほど、会員の満足度が高まり、ロータリーの将来に対する楽観的な見解が増える。④かなりの割合のロータリアンが、変化のペースに苛立ちを感じている。⑤多くのロータリアンが、所属クラブがより多くの社会奉仕と国際奉仕のプロジェクトに参加することを望んでいる。⑥プロジェクトや活動に十分参加しないクラブは、参加意欲の低下や会員減につながる恐れがある。

このような結果にて、ビジョン声明「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」が出されました。

第2ゾーン ロータリーコーディネーター 田中 正規（西尾RC）

■「ストーリーテリングの重要性 」

昨年の3月に地域リーダー就任にあたってシカゴの研修で学び、今でも鮮明に覚えていることの一つに、「ロータリーをストーリーで語ろう」があった。ストーリーで語ることで相手に理解されやすく、影響を与えられると言う。因みにインターネットで「ストーリーテリング」を検索すると様々な有益な情報が得られた。少し長いが引用する。「ストーリーテリングとは伝えたい思いやコンセプトを、それを想起させる印象的な体験談やエピソードなどの物語を引用することによって、聞き手に強く印象付ける手法のことです。抽象的な単語や情報を羅列するよりも、相手の記憶に残りやすく、得られる理解や共感が深いことから、企業のリーダーが理念の浸透を図ったり、組織改革の求心力を高めたりする目的で活用するケースが増えている」とあった。ビジネスの世界で「自分の考えや思いを伝える」ことが大切であり、会社の経営理念や商品の説明、またブランディングにおいてもストーリーで語ることは効果的とされる。

この時代、消費者の目は肥えてきて差別化が難しくなってきており、数字や表だけの説明だけではなかなか共感が得られなくなってきているようだ。先ごろ科学者の学会発表においてもストーリー仕立てにすることの必要性を説く「なぜ科学はストーリーを必要としているのか」という大部な本（ランディ・オルソン著、慶應義塾大学出版会）に出会った。副題に「ハリウッドに学んだ伝える技術」とあった。著者は言う「物語は、信じられないくらい強力だ。ビジネスの現場でのツールとしてだけではなく、世界を理解する上でも、その力は計り知れない」と。

ストーリーテリングの特徴は、語り手が自分の言葉に直して語るところに特徴がある。同じ物語でも語り手によって味わいを持たせることができる。

ロータリーを外に向かって語るとき4つのボイスを活用することが推奨されている。「賢明さ」「思いやり」「粘り強さ」「行動を促す力」の4つである。先日、自クラブの「オープン・ロータリー」で外部の人たち（入会被推薦者含む）を招き、このボイスを使ってロータリーと自クラブの歴史を語る機会があった。25分位の短い時間ではあったが私のスピーチとしてはこのボイスのお陰で珍しくまとまった話ができたように思う。経験豊かなリーダーの世界的ネットワーク、6つの重点分野、青少年交換、インターアクト、ローターアクト、米山記念奨学会、ポリオ撲滅などのロータリーの活動をボイスの視点で整理しながら情熱をもって語ったつもりだ。

ガバナー、ガバナー補佐、地区委員長はロータリー（2つの標語・ロータリーの目的・4つのテスト・戦略計画・中核的価値観・ポリオ撲滅など）を語る機会が多い。その際にボイスを活用しストーリーで語ることを強く推奨する次第である。

第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター　柳生 好春（野々市RC）

3330地区大会参加報告

国際ロータリー第2500地区
パストガバナー　小船井　修　一
（釧路ロータリークラブ）

標準ロータリークラブ定款の第 18 条にロータリーの目的の受諾と定款・細則の順守 を引用します。
(引用) 会員は、会費を支払うことによって、ロータリーの目的の中に示されたロータリーの原則を受諾し、本クラブの定款・細則に従い、その規定を順守し、これに拘束されることを受諾するものとする。そしてこれらの条件の下においてのみ、会員は、本クラブの特典を受けることができる。(引用終り、下線筆者)

ロータリアンは標準ロータリークラブ定款第 18 条ロータリーの目的の受託と定款・細則を遵守することを前提に、クラブの特典を受けることができます。

その特典について解説する紙数はありませんので、特典の一つに「国際奉仕」があります。具体的にはロータリーの目的の受諾と定款・細則を遵守する誓約した世界中のロータリアンと交流し、友情を深め、そして「ロータリーの目的」を実践できるという「特典」があるからです。

私は 2002-03 年のガバナーですが、年度会長はビチャイ・ラタクル氏（タイ国）でした。ビチャイ氏の「慈愛の種を播きましょう」は国際ロータリーが主役ではなく、グラスルーツであるロータリークラブであるとの前提のテーマでした。そのビチャイ会長の関係から、それ以降頻繁にタイを訪問するようになりました。

さて、3330 地区大会は 3 月 29 日夜から 31 日午前中まで、バンコク近郊のナコンパトムで開催され、細川ガバナーが地区内行事のため 3330 地区大会には参加できず、ガバナーメッセージを代読させていただきました。

地区大会にはビチャイ元会長も参加され、会長代理にはガバナー未経験の上海ロータリークラブのロータリアンでした。中国本土からの会長代理は私の経験では初めてでしたが、タイのロータリアンの多くが華僑系（ビチャイ元会長も華僑）であることからか、違和感はあまりない印象でした。

そして、地区大会には海外から多くの参加があり、日本からは青森、岐阜・三重、インド、韓国など年々国際色が豊かになっています。

RI2500 地区と RI3330 地区との友好関係は財団の様々なプロジェクトを通したものであり、今後とも友好関係を続けるためにも、多くのロータリアンがタイへ訪問されることを期待しています。

スナップを 2 枚掲載していますが、今年 93 歳！のビチャイ元会長が元気に座らないで講演をされたスナップと三重からのロータリアンとのスナップを紹介させていただきます。

ロータリー財団グローバル補助金 奨学生候補者の面談について

国際ロータリー第2500地区
グローバル補助金小委員会　委員長　行　木　隼　人
（音更ロータリークラブ）

日時：2019年４月16日（火）12：30～　　会場：ホテル日航ノースランド帯広

グローバル補助金による奨学生候補者「田中佑依」さんの地区面接試験を実施し、合同会議を開催して国際ロータリー第 2500 地区として正式に彼女をグローバル補助金の奨学金を受領する奨学生としての採用を決定しました事をご報告いたします。

・面接官／ＲＩ第 2500 地区　細川ガバナー
〃　笹谷ロータリー財団委員長
〃　真下奨学金・学友小委員長
〃　長倉補助金小委員長
〃　行木グローバル補助金小委員長
〃　柴田地区幹事

奨学生紹介

田中　佑依（たなか　ゆい）　1987 年生まれ（32 歳）

・学歴／立命館大学　国際関係学部卒業
・留学先／サセックス大学開発研究所
・重点分野／コミュニティー参加型の開発手法

インターアクトクラブ 短期海外研修報告

国際ロータリー第2500地区
インターアクト委員会　委員長　藤　田　礼　三
（遠軽ロータリークラブ）

今年度の短期海外研修は３月 25 日（木）から３泊４日で、韓国ソウル市の 3650 地区支援の梨花女子大学付属高校との交流に訪問しました。

当初は受け入れについて心配していましたが、2006 年と 2007 年の２年間にわたり、韓国の高校生を遠軽ロータリークラブが受け入れたのを契機に、遠軽ロータリークラブが会員家族を含めて 2009 年に梨花女子大学付属高校を訪問した歴史があったので、快く交流会を行うことができました。

参加した９校 12 名のインターアクトクラブの生徒と引率２名と通訳の計 15 名で、26 日夕方にソウル市の梨花女子大学付属高校インターアクトクラブへ訪問しました。

韓国は３月が新学期のため遅い時間でしたが、NA･JI･Kyun（ナ･ジ･ギヨン）先生と、30 数名クラブ会員から大歓迎を受けました。

いくつかのグループに分かれ、英語、日本語、韓国語を混ぜた中でのコミュニケーションでしたが、思い出と心に残る２時間を過ごしました。世界に友達の輪を広げながら、ボランティア精神と国際的感覚を養う時間だったと思います。

インターアクトクラブについて考えるに、2500 地区の組織率は 20％です。今後、まだ支援していないクラブはぜひ地元の高校のボランティアクラブと話をし、認証を受けることを期待しています。

また、青少年委員会では韓国 3590 地区との交流事業がありますが、インターアクトクラブのない高校から参加している面も整理統合すべきではないかと感じています。

また、もうひとつの事業であるインターアクト地区大会は５月24日（金）･25日（土）に遠軽ロータリークラブが支援している遠軽高等学校インターアクトクラブが中心となり開催します。多くのインターアクトクラブと多くのロータリアンの参加を期待しています。

最後に、今回参加していただいた９校の支援クラブに厚くお礼申し上げます。

新入会員紹介

2019年４月入会

第１分区
稚内ロータリークラブ
石屋忠浩（いしや ただひろ）
●電力供給
●昭和41年２月23日
●４月１日入会

第５分区
網走ロータリークラブ
前田敏行（まえだ としゆき）
●機械工具販売
●昭和43年８月15日
●４月９日入会

第５分区
網走西ロータリークラブ
八巻昭一（やまき しょういち）
●不動産業
●昭和44年９月20日
●４月４日入会

第５分区
北見ロータリークラブ
北本満（きたもと みつる）
●ガス事業
●昭和44年３月31日
●４月17日入会

第５分区
北見ロータリークラブ
中川敦司（なかがわ あつし）
●生命保険
●昭和42年４月23日
●４月17日入会

第７分区
釧路東ロータリークラブ
花岡慎一郎（はなおか しんいちろう）
●総合金融業
●昭和50年12月４日
●４月２日入会

第７分区
釧路北ロータリークラブ
中山徹（なかやま とおる）
●電力供給
●昭和38年10月３日
●４月10日入会

ロータリー財団寄付者・米山功労者

分　区	寄付の種類	名　　前（ふりがな）	ロータリークラブ	寄付月日
第３分区	米山功労者　１回	山北正美（やまきた　まさみ）	旭川西ロータリークラブ	3月13日
第３分区	米山功労者　13回	東堂　明（とうどう　あきら）	旭川北ロータリークラブ	3月6日
第３分区	米山功労者　12回	井内治弥（いうち　はるや）	旭川北ロータリークラブ	3月6日
第３分区	米山功労者　１回	真下幹朗（ました　みきろう）	旭川北ロータリークラブ	3月6日
第３分区	ＭＰＨＦ５回目	谷川　敞（たにかわ　あきら）	旭川北ロータリークラブ	3月7日
第３分区	ＭＰＨＦ５回目	吉川裕二（よしかわ　ゆうじ）	旭川北ロータリークラブ	3月7日
第３分区	ＭＰＨＦ１回目	山本淳一（やまもと　じゅんいち）	旭川北ロータリークラブ	3月7日
第３分区	ＭＰＨＦ１回目	東堂文子（とうどう　ふみこ）	旭川北ロータリークラブ	3月7日
第５分区	米山功労者　１回	近田光廣（ちかだ　みつひろ）	網走ロータリークラブ	3月18日
第６分区	ＭＰＨＦ１回目	村瀬正明（むらせ　まさあき）	音更ロータリークラブ	3月27日
第７分区	ＭＰＨＦ４回目	平井昌弘（ひらい　まさひろ）	釧路北ロータリークラブ	4月11日
第８分区	ＭＰＨＦ６回目	杉木博幸（すぎき　ひろゆき）	根室西ロータリークラブ	3月20日

物故会員

謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈りいたします

■第１分区　天塩ロータリークラブ

2010年２月　　入会

浅田弘隆（あさだ ひろたか）
地方行政

平成31年３月31日逝去（78才）

RI2500地区

例会出席率及び会員数推移

2019年3月末報告

分区	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数 2018年7/1	当月	増減	女性会員
1	礼　文	3	80.0	14	14	0	0
	利　尻	4	86.8	17	17	0	0
	利尻島	2	54.2	13	12	-1	1
	天　塩	2	85.0	11	10	-1	3
	豊　富	4	95.5	22	22	0	1
	稚　内	3	54.3	47	46	-1	2
	稚内南	4	89.5	36	37	1	2
	計		77.9	160	158	-2	9
2	美　深	3	83.3	26	25	-1	0
	枝　幸	4	87.5	22	24	2	0
	名　寄	4	80.2	58	58	0	2
	中頓別	4	80.6	18	18	0	0
	士　別	4	86.7	48	47	-1	1
	下　川	3	92.0	4	4	0	0
	計		85.0	176	176	0	3
3	旭　川	4	68.3	71	74	3	0
	旭川東	3	74.0	34	34	0	0
	旭川北	3	83.0	42	40	-2	1
	旭川南	3	88.2	33	34	1	0
	旭川西	4	73.9	49	46	-3	5
	旭川東北	3	91.1	17	16	-1	2
	旭川モーニング	3	86.4	28	27	-1	5
	旭川空港	4	81.3	12	12	0	4
	美　瑛	3	72.0	27	25	-2	0
	富良野	3	100.0	48	47	-1	2
	上　川	3	73.3	10	10	0	0
	2500REクラブ	3	84.8	19	22	3	1
	計		81.4	390	387	-3	20
4	遠　軽	3	69.3	41	41	0	2
	紋　別	5	54.5	33	30	-3	0
	紋別港	4	89.9	35	34	-1	0
	中湧別	4	82.5	11	10	-1	0
	興　部	4	75.0	16	16	0	1
	雄　武	3	63.8	12	12	0	0
	滝　上	2	70.0	15	15	0	1
	計		72.1	163	158	-5	4

分区	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数 2018年7/1	当月	増減	女性会員
5	網　走	4	69.0	49	50	1	8
	網走西	3	81.3	50	50	0	0
	美　幌	3	87.3	54	57	3	4
	北　見	4	78.1	55	57	2	4
	北見東	5	91.6	52	52	0	2
	北見西	3	90.4	59	64	5	0
	清　里	3	81.6	28	29	1	0
	留辺蘂	3	85.4	24	24	0	1
	斜　里	3	84.2	37	37	0	4
	計		83.2	408	420	12	23
6	足　寄	2	66.0	30	29	-1	1
	広　尾	3	80.3	21	22	1	0
	上士幌	4	55.0	14	15	1	0
	芽　室	4	73.0	26	27	1	1
	帯　広	3	86.5	89	94	5	6
	帯広北	4	61.7	67	68	1	2
	帯広西	3	78.5	71	76	5	3
	帯広東	4	92.4	39	39	0	2
	帯広南	4	84.0	75	76	1	8
	音　更	4	73.2	39	41	2	4
	清　水	3	74.1	22	18	-4	2
	計		75.0	493	505	12	29
7	釧　路	3	81.3	94	95	1	1
	釧路東	3	70.0	32	32	0	1
	釧路北	4	91.0	78	78	0	3
	釧路南	4	75.0	27	29	2	5
	釧路西	3	74.0	29	30	1	1
	釧路ベイ	4	86.3	21	20	-1	1
	音　別	3	69.0	17	16	-1	0
	白　糠	5	92.0	9	10	1	0
	計		79.8	307	310	3	12
8	厚　岸	4	68.7	17	17	0	0
	別　海	3	70.4	19	18	-1	0
	浜　中	4	88.5	12	12	0	0
	中標津	3	66.7	21	20	-1	1
	根　室	4	73.8	38	38	0	0
	根室西	4	89.6	49	48	-1	0
	弟子屈	4	70.7	18	15	-3	1
	計		75.5	174	168	-6	2
総　計			78.7	2,271	2,282	11	102

第2500地区 全67クラブ	18年7/1会員数	3月31日会員数	増減	平均出席率
	2,271人	2,282人	11人	78.7%
女性会員数		102 人		

国際ロータリー第2500地区
2018-2019年度　ガバナー

細　川　吉　博

■ガバナー事務所

〒080-0801 北海道帯広市東1条南14丁目1-1 タイヤセレクト2F
Tel:0155-66-9307　FAX:0155-66-9308
E-mail: ri2500-obihiro.north@road.ocn.ne.jp

■Governor's Office

Tire Select 2F,1-1,Minami 14-chome,Higashi 1-jo,Obihiro-shi
Hokkaido,080-0801,Japan
Tel:+81155-66-9307　FAX:+81155-66-9308
E-mail: ri2500-obihiro.north@road.ocn.ne.jp

http://rid2500.jp